

ケース 7 成果第一さん Outcome(成果物) だけに気を取られ



リハーサルは無難にできたけど...

先輩〜 きびしい顔してんなあ〜

これらの事実から結論は……

いまいあ〜 「やった」という実感が無い……

Outcome に気を取られ 成長できず

Outcome = 成果物をまとめる事も大切。でも PPでは Outcome は評価しない



なぜだと思おう?

成果だけ考えてるよ〜 過程が大事なんだよなあ

どのスキルが成長したか 分からないよ

ふだんはもっと面白いのに あいつらしくないよ

こんな中身で何が面白いんだ?



Personal Project

チャレンジ!!!!

なんかチカラついたなあ

チャレンジは成長の元?

この経験でスキルが身につく

先輩〜 たった一年上なのに 差がありすぎッス

この過程に焦点を当てる?

何をした時にそのスキルが身についたのか?

自身で振り返り過程を記録する

すると次にやるときはもっとうまくできるそれがスキルが身につくということだ

記録し、振り返れば失敗を繰り返さない?

失敗も価値があるのか?

失敗ってないのか?

過程に焦点をあてて成長できた

グッドジョブ!!

結果ではなく過程で成長したかどうか

うまく行かなくてメチャクチャ苦しんだよ〜



この実験は失敗…しかし…そこから学んだのは…

課題が明確になり……

まだまだ〜 もっと苦しめばもっと成長できたかもね〜(´・`)

チェンジ!!

探究の課題を設定する

僕の興味がグローバルな課題とどうつながるのか?

この課題でどういう形の Outcome にすべきか?

面白そうな疑問って?

アルツハイマーの治療薬は?

ホテルはなぜ光る?

サナギの時期はなぜ必要?

光免疫療法って何?

薬の定義は?

知らないことにチャレンジするのは成長のタネ

成果第一さんは、Outcome を仕上げることに集中し過ぎ、新しい事に挑戦したり自らのスキルを高めることを意識しませんでした。論理の破綻や、情報不足も気にしすぎ、成長の実感の得られない萎縮した発表になりました。しかし「分からなく

て面白いこと」に意識を向けると、世界は謎に満ちていることに気づき、成長して未来を創るのが自分の役割だと自覚。Outcome にこだわらず、大胆な仮説をたて、もがき苦しみながら大きく成長しました。